

国際交流講演会

HIV-1進化論とワクチン

講師：Dr. Ronald Swanstrom

(University of North Carolina at Chapel Hill, USA)

日時：平成18年9月20日（水）16：00-18：00

**場所：熊本大学大江総合研究棟2階多目的ホール
（薬学部キャンパス）**

Swanstrom教授はHIV-1感染患者個体内でのウイルスの進化をウイルス-宿主間の相互作用に基づき、ウイルス自身が個体内でどのような進化を遂げるのかに関して興味深い研究を推し進められ、AIDS研究・ワクチン開発に大きなインパクトを与えられておられます。世話人は本講演会が多くの日本の学生・若手研究者と最新のAIDS研究・ワクチン開発研究に関する情報交換を行うためのよい機会を提供できればと考えています。

なお、Swanstrom教授は、医学薬学研究部の三隅・高宗両博士が、文部科学省大学教育の国際化推進プログラム（海外先進教育研究実践支援）等により米国に留学した際の指導教授で、今回熊本大学との共同研究及び研究者相互交流の一貫として御来学されます。

主催：日本薬学会九州支部

共催：熊本大学、日本生化学会九州支部

後援：エイズ予防財団

世話人：熊本大学大学院医学薬学研究部薬学生化学分野

三隅 将吾、高宗 暢暁、庄司 省三

連絡先：Tel: 096-371-4363(三隅), Fax: 096-362-7800

E-mail: misumi@gpo.kumamoto-u.ac.jp

図説明：感染細胞から出芽するHIV-1粒子（薬学生化学分野と高橋一郎博士（帝京大学医学部中央電子顕微鏡室）との共同研究）